

No.	基本目標3		担当課	主な取組、事業内容・成果		中間評価 (選択)	良かった点 課題	今後の方向性 (選択)	左記選択の理由
	取組の方向性			29年度	30年度				
	(1)健康づくりの推進								
81	P60	生涯を通じた健康づくりの推進	健康増進課	元気にラジオ体操教室！開催 3日間 298人	元気にラジオ体操教室 3日間 309人 健康づくり講演会 300人	○	健康づくり運動の環が、ラジオ体操や講演会により、広がっている。	<input type="checkbox"/> 拡 充	引き続き、本事業により、 市民が主体的に健康づく りを実践できる機会を提 供していくため、継続と する。
		年齢等により異なる課題に対応するため、各世代にあった健康づくりに取り組めるよう、多様な団体等と連携して、市民が主体的に健康づくりを実践できる機会を提供します。		事業参加者：892人 健康講座：358人 事業評価検証： ①アンケート調査：308人 ②歩数データ分析：735人 ③医療費分析：318人 埼玉県コバトン健康マイレージシステムの導入（予算配当は別）	事業参加者：1,135人 定例健康ウォーク参加者数204人 事業評価検証： ①アンケート調査：334人 ②歩数データ分析：780人 ③医療費分析：235人		歩数の未送信者が増えているなど、システムが有効に活用されていないケースもあり課題となっている。	<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	
82	P60	地域の力を活かした健康づくりの推進	健康増進課	元気なまちづくりリーダー養成 ：20人	元気なまちづくりリーダー養成 ：45人	○	保健事業及び介護予防を含めて一体的な健康づくり運動を進めていく。	<input type="checkbox"/> 拡 充	健康づくりの中心となる 人材の養成と育成によ り、地域の健康づくりを 推進ため、継続とする。
		地域全体で力をあわせ、支え合いながら健康づくりに取り組めるようにするため、地域のボランティア団体やコミュニティ団体等と連携しながら、地域での健康づくりの中心となる人材の育成や活動支援を行います。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	
83	P60	食育の推進	健康増進課	食生活改善普及の実施799人 食生活改善推進員の養成9人、 育成59人	食生活改善普及の実施541人 食生活改善推進員の養成7人、 育成59人 ※「学校、保育所等において作物づくり、調理実習、餅つき会などの季節行事等あらゆる機会を通じて食育を実施している」。	○	食育の推進により、広がっている。	<input type="checkbox"/> 拡 充	引き続き、本事業により、 食に関わる関係機関や団 体等が連携し、食育の環 を広げて行くため、継続 とする。
		学校や保育所、幼稚園をはじめ、保健・医療関係者、農業生産者、事業者、食生活改善推進員協議会等の食に関わる様々な関係機関や団体等が連携し、それぞれの特徴を活かしながら、各分野で食育を推進します。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	
84	P60	生活習慣病予防対策の充実	保健センター	幸せ健康講座 (市民センターと協働実施) 8回 341人 富士見保健室 1回 34人	幸せ健康講座 (市民センターと協働実施) 8回 286人	○	保健センターに来所が難しい者へ講座を実施し、生活習慣病予防の知識等を普及することができた。	<input type="checkbox"/> 拡 充	引き続き、本事業により 保健センターに来所が難 しい者へ講座等を実施 し、地域に密着した生活 習慣病予防対策を実施す る。
		市民センターや地域支え合い協議会との協働により、生活習慣病予防教室や地域の保健室を開催する等、地域に密着した生活習慣病予防対策の充実を図ります。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	
85	P60	介護予防の推進（再掲31ページ）	高齢者福祉課	介護予防ボランティア養成講座を年1回開催しボランティアの要請に努め、市と連携しボランティアを派遣している。 介護予防ボランティア登録者数58人	同左 介護予防ボランティア登録者数66人	○	地域住民に対する健康づくり・介護予防を提供する機会を増やすことができた。	<input type="checkbox"/> 拡 充	地域住民の健康づくり・ 介護予防を地域で安定的 に行うことができるため には、介護予防ボラン ティアの力が必要である ため。
		介護予防に向けた取組を推進するとともに、介護予防ボランティアを養成し、市とボランティアが連携して、住民主体の介護予防活動を支援します。						<input checked="" type="checkbox"/> 継 続	

No.	基本目標3		担当課	主な取組、事業内容・成果		中間評価 (選択)	良かった点 課題	今後の方向性 (選択)	左記選択の理由
	取組の方向性	1 健康・生きがいを培うシステムづくり		29年度	30年度				
(2)生涯学習・スポーツの振興									
86	P60	生涯にわたる学習活動の支援		生涯学習スポーツ課	わかば大学塾 258講座 受講者延2,631人	わかば大学塾 240講座 受講者延2,853人	○ 講座数は減ったものの、受講者は増加し、市民の学習の機会が増えた。 市民教授と受講生の固定化や市民センターのサークルとの共存などが課題。	□ 拡 充 ■ 継 続 □ 見直し □ 廃 止	市民が講師となって企画運営しており、身近な生涯学習事業として、有益であるため。
		幅広い年齢層や様々な課題に応じた市民、サークル・団体の学習活動を支援します。							
87	P60	生涯スポーツ・健康づくりの推進		生涯学習スポーツ課	健康マラソン大会、幼児サッカー大会、ニュースポーツ体験、ステージコーナー、健康測定コーナー等実施 参加者約1,300人	同左	○ 近隣大学やスポーツ団体、民間スポーツクラブ等との共同により、多種多様なコーナーを設け、市民がスポーツに親しむ機会を提供することができた。 参加者の約7割が中学生未満の子供であるため、今後大人、高齢者も参加しやすいイベントの企画を図りたい。 また、令和2年度に完成予定の農大跡地グラウンド（仮）の使用についても検討したい。	□ 拡 充 ■ 継 続 □ 見直し □ 廃 止	市民の健康増進と体力の向上、誰もが気軽にスポーツに親しむことができる総合的なスポーツイベントとして実施する必要があるため。
		スポーツ団体や大学、企業等との連携又は協働により、市民にスポーツに親しむ機会を提供する等、スポーツを通して市民の健康増進を図ります。							
(3)就労支援の充実									
88	P61	就労支援体制の構築		産業振興課 (福祉政策課) (障害者福祉課) (こども支援課)	鶴ヶ島市ふるさとハローワーク (週5日月・火・水・木・金)、 障害者就労面接会(年1回合同)、 若者就職面接会(年2回合同)、 内職相談(週2回火・木)を実施し、 就労を支援した。	同左	○ ハローワーク川越や近隣自治体と連携して就職面接会を開催し、就労支援に寄与した。 雇用情勢の変化を敏感に察知し、ニーズに応じた支援を行っていく必要がある。	□ 拡 充 ■ 継 続 □ 見直し □ 廃 止	一定の事業効果が見込めるため。
		市ふるさとハローワークによる就労支援を中心として、障害者、母子、生活困窮者等の就労支援部門との連携を図り、効果的な就労支援体制を構築します。							
89	P61	関係機関との連携の強化		産業振興課 高齢者福祉課	シルバー人材センター会員数 675名	シルバー人材センター会員数 653名	○ 市内675名の方が会員登録しており、就労による社会活動への参加をしている。 近年、再雇用などにより60代の会員が減っている。シルバー人材センターの中でも高齢化が進んでいる。	□ 拡 充 ■ 継 続 □ 見直し □ 廃 止	今後も、高齢者の就労を通して、生きがいづくりや社会参加の機会を提供するため。
		ハローワーク、市シルバー人材センター等の関係機関や県と連携した就労支援に取り組みます。							
90	P61	女性活躍応援事業の推進		政策推進課 (女性センター)	①経営者、管理職、人事担当者向けセミナー(女性活躍の必要性及び働き方改革について学ぶ) 参加者 19人 ②鶴ヶ島市地域企業就職面接会(主に結婚や出産を機に離職した女性を対象とする再就職支援) 出展事業所 7事業所 参加者 22人 保育 10人 就職率 31.8% ③女性起業応援カフェ@つるがしま(起業した女性及び起業を目指す女性を対象とした学び、情報交換及び相談のためのイベント) 参加者 18人	同左 参加者 8人 同左 出展事業所 6事業所 参加者 34人 保育 2人 就職率 11.8% 同左 参加者 25人	○ 女性活躍の必要性を周知し、気運を高める機会となっている。また、事業を継続することにより、市として女性活躍を進めていることの認知度が高まっている。 女性活躍推進及び男女共同参画の必要性について、理解する人の割合が低い。また、多様で柔軟な働き方ができるよう、事業所における意識改革も含めた環境整備が必要である。	□ 拡 充 ■ 継 続 □ 見直し □ 廃 止	引き続き、女性活躍の必要性を高める必要があるため。
		企業等における女性の登用や起業に向けた地域ぐるみの取組への支援を行います。							

No.	基本目標3		担当課	主な取組、事業内容・成果		中間評価 (選択)	良かった点 課題	今後の方向性 (選択)	左記選択の理由	
	取組の方向性			29年度	30年度					
(1)社会参加のための条件整備の推進										
91	P63	共生社会・ノーマライゼーションの理念の普及（再掲27ページ）		障害者福祉課	障害者交流フェスティバルの実施（年1回） 来場者数 約 600人	障害者交流フェスティバルの実施（年1回） 来場者数 約 1,000人	○	障害者支援ネットワーク協議会に委託し、障害の当事者団体や支援団体が主体的に運営を行うことで、障害に対する理解啓発が図れた。 障害者支援ネットワーク協議会は、市内全ての障害者団体や事業所が加盟していない。業務の傍らで担うボランティアな取組のため事業所の負担が過重にならぬ工夫がある。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	市民の共生社会、ノーマライゼーションに対する認識を高めるため。
		共生社会、ノーマライゼーションの理念や必要性について、様々な機会を通して分かりやすく示すことにより、市民の共生社会、ノーマライゼーションに対する認識を高めます。								
92	P63	公共施設・公共機関のバリアフリー化の推進		資産管理課 都市計画課	バリアフリー化を継続して推進している。	同左	○	利便性の向上が図られている。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	現在バリアフリー対応していない施設に関して、今後大規模改修等を行うにあたり継続してバリアフリー化を推進する必要があるため。
		庁舎、公園、道路、駅等について、誰もが安心・安全・快適に利用できる機能向上を図るため、バリアフリー化を推進します。								
93	P63	公共交通の充実		都市計画課	利用者数 つるバス 182,341 人 つるワゴン 115,877 人 計 298,218 人	利用者数 つるバス 181,650 人 つるワゴン 119,110 人 計 300,760 人	○	ニーズに即したルート・ダイヤの見直しや、利用促進に向けた取り組み等により、利用者が増加している。 運行環境の変化や利用者のニーズへの対応等を考慮して、利用者がさらに増加するよう検討していく。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	目標値となっているつるバス・つるワゴンの利用者数を増加させるため、引き続き、利便性の向上を図っていく。
		超高齢社会を見ずえ、市民ニーズに即したルートの見直しを行う等、つるバス・つるワゴンのさらなる利便性の向上を図ります。また、鉄道の利便性向上を促進します。								
94	P63	外出支援の充実		高齢者福祉課 障害者福祉課	レスパイトサービス 総利用時間 4,308.5時間 移動支援事業 利用者数 59人	レスパイトサービス 総利用時間 4,169.5時間 移動支援事業 利用者数 62人	○	福祉有償運送事業や移動支援事業を安定して利用していただくことにより、障害者の外出支援を図ることができた。 通勤・通学・通所・通院といった恒常的活動を認めてない。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	障害者の外出支援を図るため。
		高齢者、障害者等が一人で外出できるよう福祉有償運送事業を促進するとともに、ヘルパー等の支援員による移動支援の充実を推進します。								
95	P63	情報のバリアフリー化の推進		障害者福祉課	視覚障害者向け刊行物の作成（点字版、デジ版） 22件 要約筆記者派遣件数 1件	視覚障害者向け刊行物の作成（点字版、デジ版） 21件 要約筆記者派遣件数 1件	○	必要に応じて情報収集手段の確保、円滑化を図り、情報のバリアフリー化を推進することができた。 秘匿すべき個人情報と、日常生活情報との取扱の区別	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	障害等により情報の収集や活用に支障のある人に、情報収集の手段の確保と利用の円滑化を図るため。
		障害等により情報の収集や活用に支障のある人に、情報収集の手段の確保と利用の円滑化を図り、情報通信の利便性を推進します。								
96	P63	仕事と子育ての両立支援		こども支援課	保育所：国定義の待機児童0人 学童保育室：待機児童0人 【新規対応】 ・小規模保育施設認可 3か所 ・病院保育施設認可 1か所 ・民間保育園整備補助 1か所	保育所：国定義の待機児童0人 学童保育室：待機児童0人 【新規対応】 ・民間保育園認可 1か所 ・事業所内保育施設認可 1か所 ・学童保育室借上（整備）1か所	○	待機児童0人を維持できている。 今後もニーズに応じた施設改修が求められる。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	高まる保育需要に対応するため、施設等の整備を行っている。今後も待機児童0を維持するため、継続した対応が必要である。
		就労形態の多様化に対応した保育サービス、学童保育等を充実し、男性も女性も働きながら、ともに子育てができるよう支援します。								
(2)市民の地域活動の促進										
97	P64	高齢者の活動の支援（再掲31ページ）		高齢者福祉課	単位老人クラブ数 31クラブ 老人クラブ会員数 1,299人	単位老人クラブ数 31クラブ 老人クラブ会員数 1,291人	○	スポーツや友愛活動（登下校見守り）、イベント等を通して、地域で声掛けを行い、つながりを深め相互支援ができている。 会員が高齢化となり、役員の担い手が不足している。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	スポーツや友愛活動等で地域でのつながりを深めていくため、社会参加の場を提供していく。
		地域の高齢者のつながりの基盤となる老人クラブの活動を支援し、老人クラブの活性化を促進します。								
98	P64	障害者の社会参加の推進（再掲32ページ）		障害者福祉課	手話通訳者派遣件数 733件 タクシー利用助成件数 3,108件	手話通訳者派遣件数 616件 タクシー利用助成件数 3,066件	○	障害によって、移動やコミュニケーションが困難な方を支援し、社会参加を促進することができた。 頻回な利用が一部の障害当事者に限られ、公平一律な実施が難しい。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	障害者の社会参加を推進するため。
		市民生活のあらゆる場面のなかで、障害のある人となない人とが対等な市民同士として出会い、交流する機会を用意します。								

No.	基本目標3		安心できる地域でいきいき暮らせるまちをつくる	担当課	主な取組、事業内容・成果		中間評価 (選択)	良かった点 課題	今後の方向性 (選択)	左記選択の理由
	取組の方向性				29年度	30年度				
99	P64	自治会活動への支援（再掲35ページ）		地域活動推進課	自治会の数 83自治会 自治会の加入世帯数 19,506世帯 ※自治会加入促進ポケットティッシュ作成30,000個	自治会の数 83自治会 自治会の加入世帯数 19,184世帯	○	自治会加入促進チラシ・ポケットティッシュを自治会へ配付し未加入の世帯等に配布してもらうとともに、市民課窓口において転入者に配布している。また、自治会の運営に対する補助金、自治会集会所の修繕やエアコン設置に対する補助金を交付し、自治会の活動を支援している。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	自治会活動を支援するため。
		自治会への加入や自治会活動を促進するための支援を行います。								
100	P64	子ども会・PTAの活動支援		生涯学習スポーツ課	鶴ヶ島市子ども会育成会連絡協議会加入団体数 7団体 鶴ヶ島市PTA連合会加入団体13団体	同左	○	子どもたちの活動の場の提供をしている。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	社会教育活動を支援するため。
		子どもを取り巻く社会環境の変化に対応できるよう、PTA活動や子ども会の活動に必要な情報を提供するとともに、地域活動を行う団体の紹介等により地域における連携を支援します。						・PTA活動を通じて地域での活動が進められている。 ・担い手の確保 ・現状に合わせた活動の進め方		
101	P64	市民活動の支援		地域活動推進課	市民活動団体の紹介や会員の募集を目的とした「地域デビューきっかけ広場」の開催を行うとともに、団体相談コーナーを設けている。また市民活動推進センターにおいて、市民活動団体主催の講習会等を行っている。 【地域デビューきっかけ広場】 H27～実施 【市民活動団体主催講習会等】 ・パソコン初級者相談会、パソコンミニ講習会 ・映像フェスティバル	同左	○	地域デビューきっかけ広場を開催することで、多くの市民の方に周知ができ、団体間の交流の場となり、新たな事業展開が期待されている。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	市民活動を支援するため。
		市民センター等の地域拠点施設において、各種助成金の情報や活動場所の提供、運営に関する相談対応や情報提供、他団体の紹介等を行います。						シニア世代の新たな活動の担い手の発掘が課題となっている。		
(3)他分野との連携の促進										
102	P64	企業等との雇用の連携		福祉政策課 障害者福祉課	就労支援員による職業相談、職場開拓、就労実習等により、障害者の一般就労の機会拡大を図り、障害者が安心して就労できるよう障害者支援を行う。	同左	○	生活と就労の相談を同一法人内で一体で行うことで、きめ細かな支援が可能となった。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	障害者雇用率は上昇傾向にある一方で、離退職者数も多く、職場定着が課題となっているため。
		障害者や生活困窮者等の就労を支援するため、企業等での一般就労、職業訓練・職業体験等を推進し、雇用の確保を促進します。						発達障害や高次脳機能障害など、手帳所持のない対象者が増えたが、法定雇用率に算定されない。		
103	P64	農業分野との連携		産業振興課 福祉政策課 障害者福祉課	農福連携をテーマとしたイベントの企画	第1回「農福マルシェin高倉」実施 2018.11.17	○	農業従事者と障害者の交流が図られた。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	新たな農業の担い手、働く場の創出として連携していくことが有効であるため。
		農業の担い手の一つとして、障害者、生活困窮者等が参加できる農業と福祉の連携を促進します。						障害者の体調不良時の対応 農作業が障害特性と馴染まない障害当事者もいる。		